

新年を迎えました

令和7年になりました。保護者の皆様・地域の皆様におかれましては新春を清々しくお迎えになられたこととお慶び申し上げます。皆様にとりまして、健やかで幸多い年になりますことを願っております。

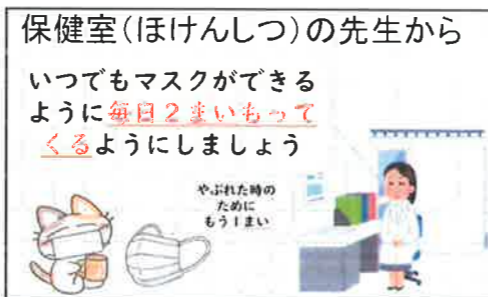


さて、今日から3学期が始まりました。冬休み中、感染症等が心配されましたが、大きな事故もなく、子どもたちが元気に登校していることに、職員一同安心しているところです。3学期は、1年間のまとめの学期です。次の学年の準備をするとともに、これまで関わってくださったたくさんの方々の思いに気付き、感謝を伝える大切な学期です。学習活動や行事などを通して、子どもたちの中に「ありがとう」の気持ちを育てていきたいと思えます。

保護者の皆様、地域の皆様には、子どもたちの健やかな成長のため、変わらぬご理解とご協力をいただきますよう、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

感染症に注意です！！

昨年末から全国的にインフルエンザやマイコプラズマ、そして新型コロナウイルス等、感染症の流行が懸念されています。幸い本校ではそれに伴う学級閉鎖は行われず冬休みに入ることができましたが、3学期に入っても油断はできません。また、新学期の初めは、子どもたちの生活リズムが整わず、体調を崩しやすい時期でもあります。学校では2学期に引き続き、手洗い、換気、必要に応じたマスク着用の励行等、感染症対策を行っていきます。



ご家庭でも寒さに負けない体をつくるために、「早寝・早起き・朝ごはん」「手洗い・うがい」「バランスのよい食事」「適度な運動」を心がけ、お子様の健康管理をよろしくお願いいたします。また、感染拡大防止の観点から毎日マスクを2枚持たせていただくようお願いいたします。

「アクション3」をご活用ください

冬休みが明けて、不安な気持ちのまま登校してきている子どもたちもいるのではないかと思います。そこで、福岡県教育委員会が不登校対策強化事業として作成したリーフレット「保護者のアクション3」を裏面に載せております。家庭で気を付ける未然防止のアクションや、早期発見・早期対応のアクションなど、家庭や学校が取り組むことなどについて書いてあります。お子さんの変化に気付くための参考にさせていただきます。

なお、冬休み後のお子さんの様子で、何かご相談されたいことなどがありましたら、学校へご連絡ください。

年齢別レーティング制度って何？

子どもたちのお年玉の使い道で多いと言われている中に「ゲームの購入」があります。このゲームソフト・アプリには「年齢別レーティング制度」があるというをご存知でしょうか？これは市販のゲームソフトやアプリに対して、その内容、使用される映像、言葉等から、それに合う『対象年齢』を記載したものです。パッケージやダウンロード画面には、右図のようなマークがありますので、購入・ダウンロードの前に必ずチェックし、お子さんと一緒に確認をさせていただきます。子どもの思考、言動への影響を考慮すると、どんなに興味を示しても、対象年齢に応じたゲームを使うことが大切です。ご配慮をよろしくお願いいたします。



年度末・年度始めの主な行事予定

【令和6年度末の主な行事予定】

- 2月 4日(火) 入学説明会(来入見体験有)
- 2月 6日(木) 学習参観(2・4年)
- 2月14日(金) 学習参観(1・3・5年)
- 2月21日(金) 学習参観(6年)

- 3月13日(木) 6年修了式
- 3月14日(金) 卒業証書授与式(6年)
- 3月19日(水) 給食最終日
- 3月24日(月) 離任式・修了式(1~5年)

※ 現時点での予定ですので、変更する可能性があります。ご了承ください。

1月の主な行事予定 (現時点での予定ですので、変更の可能性があります)

1	水	元日	17	金	避難訓練・クラブ活動(3年見学)
2	木		18	土	
3	金		19	日	
4	土		20	月	給食感謝週間(~24日)
5	日		21	火	
6	月	校納金引き落とし日	22	水	代表委員会
7	火		23	木	
8	水	3学期始業式 高原 SC 今奈良 SC 来校日	24	金	新宮中学校入学説明会(保護者のみ)
9	木	今奈良 SC 来校日 陶芸教室(6年)	25	土	
10	金	給食開始・委員会活動	26	日	
11	土		27	月	朝の読み聞かせ(3,4年) 佐藤 SC 来校日
12	日		28	火	
13	月	成人の日	29	水	今奈良 SC 来校日
14	火		30	木	今奈良 SC 来校日
15	水		31	金	クラブ活動
16	木	今奈良 SC 来校日			※ SC: スクールカウンセラー



一人一人の社会的自立に向けた 支援のための家庭の取組

保護者の ACTION3!! アクション3



福岡県の不登校は増加しています

本県では、不登校児童生徒数は年々増加しており、令和4年度は、15,000人を超え過去最多となりました。



不登校はどの子供にも起こる可能性があります

不登校は、その要因・背景に、学校、家庭、そして社会の様々な問題が複雑に絡み合っており、特定の子供に特有の問題があることによって起こるのではなく、どの子供にも起こる可能性があります。

家庭と学校等の協力は大切です

子供のために家庭と学校等が協力し合うことが大切です。登校しづりがある等、兆候に気づいた段階で学校へ相談しましょう。また、学校ではスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった専門的な知識を有するスタッフと相談することができます。担任や教育相談担当者等を通じて相談を申し込むことができます。

◆さらに、欠席が続くようであれば、学校に加えて、お住まいの市町村の教育支援センターや、市町村や県が設置している相談窓口等に相談することもできます。

不登校の定義

不登校とは、年間30日以上欠席の児童生徒のうち、「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくてもできない状況にあること(ただし、病気や経済的な理由によるものを除く)」をいいます。
『令和4年度県立児童生徒の問題行動(不登校)生徒指導上の諸課題に関する調査』より

スクールカウンセラーとは・・・

臨床心理の高度な専門性を有する「心の専門家」です。子供や保護者との相談活動を行います。

スクールソーシャルワーカーとは・・・

社会福祉士等の「福祉の専門家」です。福祉機関等と協力して子供たちを支援します。

教育支援センターとは・・・

不登校児童生徒が社会的に自立できるように学習や集団への適応等の相談・指導等を行う教育委員会が設置している施設です。

不登校への取組は、新たな不登校を生まないための取組と不登校になった児童生徒への支援の両方が大切です。

生活や学びの場である家庭・学校が安全安心な居場所となり、新たな不登校を生まない努力を徹底しながら、不登校の前兆を示すなど初期の段階にある子供の変化に気づき、早期の対応を迅速かつ的確に行うことが重要で、これには家庭・学校の連携が必要です。そこで、家庭に具体的にどのように取り組んでいけばよいかをまとめたものが、「保護者のアクション3」です。ぜひ、家庭と学校の連携を深め、一緒に取り組みましょう。

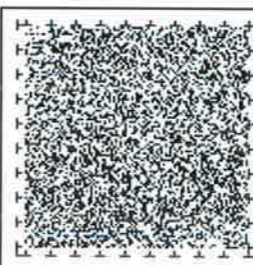
福岡県教育委員会

一人一人の社会的自立に向けた 支援のための家庭の取組

保護者の ACTION3!! アクション3

家族で、取り組みましょう!

ステージ1	日常の支援のアクション
アクション1 習慣	<input type="checkbox"/> 早寝・早起きを励行し、顔を見ながら挨拶や声かけをしましょう。 <input type="checkbox"/> しっかり食事を取らせましょう。
アクション2 人間関係	<input type="checkbox"/> 毎日、少しの時間でも、子供と会話をしましょう。 <input type="checkbox"/> 子供に、人間関係をつくる経験を積ませましょう。
アクション3 自尊感情	<input type="checkbox"/> 機会あるごとに「あなたは大切な存在である」ことを伝えましょう。 <input type="checkbox"/> 目標に向けて努力する姿勢や過程を認め、ほめましょう。
ステージ2	早期発見・早期対応のアクション
アクション1 早期発見	<input type="checkbox"/> 遅刻や欠席日数(月に3日の欠席)に敏感になりましょう。 <input type="checkbox"/> 子供の友達関係、遊び、持ち物、服装などに気を配り、ゲーム・携帯電話・スマートフォンなどの利用状況を把握しましょう。
アクション2 早期対応	<input type="checkbox"/> 子供が不調を訴えたら「心配している気持ち」を伝えましょう。 <input type="checkbox"/> 子供の生活リズムに気を配り、規則正しい生活を心がけましょう。
アクション3 学校	<input type="checkbox"/> 日頃から担任等と連絡を取り合い、子供の様子を共有しましょう。 <input type="checkbox"/> 学校生活で不安なことや悩みがないか、さりげなく話をしましょう。
ステージ3	不登校になった場合のアクション
アクション1 受容	<input type="checkbox"/> 子供からの話は気持ちを受け入れ、最後まで聞きましょう。 <input type="checkbox"/> 大きな変化を期待しすぎず、子供の小さな変化を探し、褒めましょう。
アクション2 支援	<input type="checkbox"/> 本人の好きなこと、得意なことから少しずつ関わりましょう。 <input type="checkbox"/> 欠席した日でも規則正しい生活を送るよう心がけましょう。
アクション3 連携	<input type="checkbox"/> 継続的に学校と連絡を取り合い、必要な情報を学校と共有しましょう。 <input type="checkbox"/> スクールカウンセラーなどの専門家や教育支援センター等の関係機関に積極的に相談しましょう。



相談窓口紹介

匿名でも相談できます。秘密は守られます。

家庭で取り組んでいて、迷ったとき、困ったときには相談しましょう!

子どもホットライン24 (24時間対応)
0948-25-3434

メールでの相談の場合
hotline24@pref.fukuoka.lg.jp

福岡市こども総合相談センター (年末年始を除く24時間対応)
092-833-3000

北九州市子ども相談ホットライン (24時間対応)
093-881-4152

少年サポートセンター (祝日・年末年始を除く 月～金曜日 9:00～17:45対応)

ハートケア中央 092-833-3000
 ハートケア北九州 093-881-7830
 ハートケアくもめ 0942-30-7867
 ハートケアふくおか 092-841-7830
 ハートケアいづか 0948-21-3751